

校長室だより  
NO. 36  
平成30年11月1日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 144人でチャレンジした5年生の山の学習

10月23日（火）から25日（木）までの2泊3日、5年生が市少年自然の家で山の学習を行いました。初日、多少の雨に遭いましたが、全日程を計画通り実施できました。5年生にとって、学校ではできない多くのことを体験できた有意義な3日間となりました。私も全日程を子どもたちとともに過ごすことで、5年生の子どもたちの素直さをはじめとした多くのよさを感じることができました。これは、5年の教師集団〔1組・奥田先生、2組・野村先生、3組・伊藤先生（主任）、4組・本田先生、6組・木河先生、養護・川端先生〕が、この山の学習に向けた綿密な計画と共通理解を持った指導を行い、子どもたちがそれに応えるようにがんばった表れと感じています。

まず、子どもたちが行った少年自然の家での山の学習の活動の内容についてお知らせします。

### 【1日目】

- 入所式、テント・炊飯オリエンテーション
- 炊飯活動（ごはん・カレー）・夕食
- タベのつどい                      ○ ナイトハイク
- 班長会・就寝（テント）

### 【2日目】

- 起床・洗面等                      ○ 朝のつどい
- 朝食づくり（ホットドック）・朝食
- 物品返納・テントサイトの片付け
- ロッジオリエンテーション
- 昼食
- 野外レク（落ち葉スキー・フィールドアスレック）
- タベのつどい                      ○ 夕食
- キャンプファイヤー
- 入浴・班長会・就寝（ロッジ）

### 【3日目】

- 起床・洗面等                      ○ 朝のつどい、朝食
- 荷物整理、シーツ返却、掃除
- ウォークラリー
- 昼食                                      ○ 退所式



自分たちで炉をつくり準備した炊飯活動



カレーライスを上手に作った夕食



責任を持ってがんばった後片付け



きれいになるまで取り組んだ物品返納

次に、子どもたちの成長の姿です。初日の「炊飯活動」では、6・7名の班で米を飯ごうで炊いてカレーライスを作りました。各班が、石で炉を作り、なたで木を細かく割る係、食材を切るなどの準備をする係など、分担された係を着実に行っていました。一人一人が班の中で少しでも役立とうとする気持ちが伝わってきて、班の中でなくてはならない存在となって活動できていました。子どもたちがカレーライスを食べる姿は笑顔いっぱい、係分担を責任を持って協力してやり遂げた満足感であふれていたように感じました。

2日目の「物品返納」でも各班で責任を持って、力を合わせて物品の汚れを取る姿が見られました。これは、家庭では経験のないことで、ともするといい加減になりがちなことですが、きちんとやる姿が立派でした。所員の方々からもお褒めの言葉がいただきました。「キャンプファイヤー」でもすばらしい姿が見られました。スタントや火舞いを成功させようと学年・学級が1つになろうとする意気込みを感じました。初めと終わりの儀式的部分、途中のスタントの部分のけじめをきちんとした態度で楽しむことができました。その中で、友達の新たな一面を見つける機会となったことでしょう。それを支えたのはエールマスター(進行役)を務めた野村先生であり、また、各学級のスタントを子どもたちが自信を持ってできるようになるまで丁寧に指導した学級担任の見えない支えがあったからでしょう。その後の火舞いでは息の合った美しい演技を見せてくれました。全員で拍手を送り、火舞いの子たちのこれまでの努力を認めることができました。最後に、代表の子が誓った「友情」「感謝」「勇気」「自立」は、テーマである「チャレンジ」とかわり今後に役立ててもらいたいものです。

反面、課題も見えてきました。集団での活動と個人の活動の整理が十分にできない面も明らかになってきました。これは、逆に山の学習の活動の収穫かもしれません。

最後に、この山の学習の成功には、テーマ「144人のチャレンジ 深めよう仲間の絆」が、子どもたちの活動の至る所に意識付けられていたことがとても効果的に働いていました。そのことが、5年生一人一人に自分事として活動しようとする意欲につながっていました。特に、力を合わせて学年をリードしてくれた実行委員の努力を称え紹介します。

〔実行委員〕(1組) 藤田 拓実、近藤 愛 (2組) 橋本 暖、高木麻友香  
(3組) 安達 陽介、本間 美海 (4組) 藤嶋 将弥、古家衣穂菜



楽しく滑った落ち葉スキー



キャンプファイヤーのスタント



火舞いから「チャレンジ」の火文字へ



友情・感謝・勇気・自立の火の分火



力を合わせた実行委員